

さいくうあと通信

発行

明和町役場 斎宮跡課（明和町大字馬之上 945 番地）

電話：0596-52-7126 FAX：0596-52-7133

E-mail：saikuuato@town.mie-meiswa.lg.jp

広さ137ヘクタールの広大なる国史跡「斎宮跡」
歴史と自然豊かな斎宮跡の夏の風景をご紹介します
ご家族・お友達とご一緒に是非おでかけ下さい



上園芝生広場

涼しい夕刻のお出かけをお勧めします。公園内には当時の風景を再現した「柳並木」や平安時代の斎宮寮全体の1/10史跡模型が展示されています。
また、広大な芝生広場は安全で、様々なレクリエーションに最適です。



◆斎宮跡で行われる 主な行事予定

9/12（月）十五夜観月会

会場：いつきのみや歴史体験館
斎宮跡歴史ロマン広場

10/22（土）斎宮浪漫まつり

会場：いつきのみや歴史体験館
体験館西側芝生広場

10/23（日）特別展記念講演会（第1回） ※11/5（土）（第2回）

（特別展）期間：10/8（土）～11/13（日）
テーマ「後醍醐-最後の斎王とその父-」
会場：斎宮歴史博物館



広大に植生された夏野菜畑

かぼちゃの葉が畑を覆い、とうもろこしが収穫されると斎宮跡に本格的な夏の到来です。



濃緑の間を緩やかに流れる祓川

自然の中に涼を求めてみるのも“良”。心を「無」にすることも出来そう!?



力強く生い茂った藤棚

ふるさと芝生広場（斎宮歴史博物館近く）の周囲をウォーキングした後は、藤棚の木陰でご休憩下さい。



◆郷土史QUIZ

（問題）

昔、斎宮中町に建てられた絵馬殿に、毎年大みそかの夜に絵馬を奉納し、その絵馬に描かれた凶柄によって、作物の出来具合（豊作・凶作）を占っていたという「斎宮の世だめし」といわれた言い伝えがあります。それは絵馬に描かれた“馬”が背負っていた“ある物”の色によって占われていました。

さて“ある物”とは一体何だと思いませんか？



◆ここはどこ？（斎宮跡のどこかに存在します）



草木の生い茂った中に石碑が見えます。
ここは、一体どこでしょうか？

明和町マスコットキャラクター

めい姫



解答については、裏面をご覧ください。

身近な歴史

度会県明和町だったかも・・・?

当然ながら、現在では三重県の明和町です。
ただ、ちょっと昔、明和町の一部は度会県という名前でした。今から140年ほど前の明治維新が起こった直後のことです。

度会県は宇治山田を中心につくられた県で、明和町でも一部がその範囲に入っていました(※1)。度会県のほとんどは、江戸時代の伊勢神宮の領地をそのまま引継いでおり、伊勢神宮のためにつくられた県といってもおかしくないものでした。

特に、斎宮・竹川・有爾中・上野・平尾村は古くから伊勢神宮の領地だったことから、度会県に入っていました。そして、これら明和町内の領地は、伊勢神宮にとっても特別なものでした。

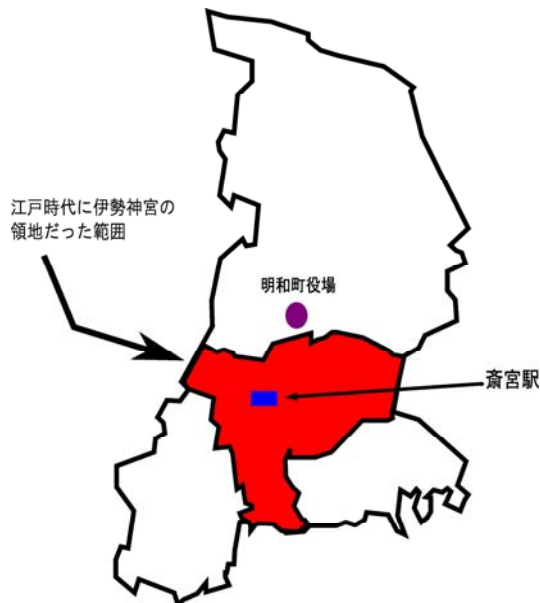
今から1200年ほど前の平安時代には、明和町をはじめ、全国各地に伊勢神宮の領地がありましたが、戦国時代ごろになると、武家の勢力などによって各地の領地がどんどん奪われていってしまいました。

ところが、斎宮、竹川、有爾中、上野は別で、一旦は信長や秀吉によって奪われてしましますが、すぐに伊勢神宮へ返されています(※2)。同じ三重県内でも、他の勢力に奪われたまま、伊勢神宮の領地に戻らなかったところがほとんどですが、まさに特別扱いをされていたといえます。

それだけ、斎宮が置かれたこの地と伊勢神宮が密接なつながりを持っていたことがわかります。そのため、伊勢の歴史を考えると、明和町は非常に重要な地域であるといえます。

(※1)明治4年11月以降は、現明和町全域が度会県。

(※2)平尾村は、江戸時代に伊勢神宮の領地に戻る。



(参考文献)

明和町史 史料編 第二巻

編集後記

暑さひとしおの中、節電にも取り組んでいく必要がある今夏ではありますが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今号のさいくうあと通信の発行にあたりましては、郷土らしい季節の風景、並びに郷土の歴史をテーマに構成をいたしました。郷土の良さを改めて見つめ直していただける、また、次世代を担う子どもたちの郷土愛を育む機会の一つとして、今後も紙面作りを行っていきたいと考えています。皆様からのご意見等もお待ちしております。



(郷土史QUIZの解答について)

表面に掲載しました

- ◆郷土史QUIZ
- ◆ここはどこ?

以上のクイズの解答につきましては、今回、下記の場所に掲示させていただきますので、ご確認にお立ち寄り下さい。

◎掲示場所

「いつきのみや歴史体験館 ロビー掲示版」

なお、体験館では8月27日～9月10日までの間、「いつきのみやの秋」と題して特別展示を行っておりますので、併せてご観覧下さい。